

島根原子力発電所及び 人形峠環境技術センター周辺 環境放射線等測定結果（速報）

（令和7年度 第1～3四半期）

令和8年4月
鳥 取 県

ま え が き

鳥取県では、「令和7年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺）」に基づき、原子力施設周辺の環境放射線監視を実施しています。

本報告書は、令和7年4月から令和7年12月までの第1～3四半期の監視結果について、「鳥取県原子力安全顧問ワーキンググループ（モニタリング分野）」において検討し、確認されたものを速報としてとりまとめたものです。

目次

まえがき

令和7年度平常時モニタリング測定結果（第1～3四半期）

ページ

【I 島根原子力発電所周辺】

1 目的区分	1
2 測定概要	1
(1) 概要	1
(2) 実施機関	1
(3) 実施内容	1
(4) 測定結果の評価方法	1
3 令和7年度測定結果（第1～3四半期）	6
(1) 測定結果概要	6
(2) 測定項目別の結果	13

【II 人形峠環境技術センター周辺】

1 目的区分	25
2 測定概要	25
(1) 概要	25
(2) 実施機関	25
(3) 測定項目等	25
(4) 測定結果の評価方法	25
3 令和7年度測定結果（第1～3四半期）	29
(1) 測定結果概要	29
(2) 測定項目別の結果	33

【III 平常の変動幅超過に係る検証】

検証1 米子局における降下物中のCs-137の検出について	39
-------------------------------	----

【IV 参考資料】

1 環境試料中の放射性核種の検出下限（定量下限）値	44
(1) 島根原子力発電所周辺	44
(2) 人形峠環境技術センター周辺	49
2 気象測定結果	50
(1) 島根原子力発電所周辺	50
(2) 人形峠環境技術センター周辺	57

令和7年度平常時モニタリング測定結果（第1～3四半期）

【I 島根原子力発電所周辺】

1 目的区分

鳥取県における島根原子力発電所周辺の環境放射線測定は、「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」（以下「補足参考資料（平常時）」という。）に示す平常時モニタリングの目的のうち、次に掲げる目的において実施する。

なお、補足参考資料（平常時）の最低限実施が必要な項目には該当しないが、環境中の経時変化を把握する上で参考となる項目又は測定技術の保持が必要と考えられる項目については、「(参考)」として測定を継続する。

④ 緊急事態が発生した場合への平常時からの備え

(参考) 環境中の経時変化の把握又は測定技術の保持

2 測定概要

(1) 概要

境港市及び米子市に設置している固定型及び可搬型モニタリングポスト、蛍光ガラス線量計によって空間放射線の測定を行うとともに、さらに固定型モニタリングポストでは、大気浮遊じんの全 α 及び全 β 放射能濃度測定を行った。また、環境試料中の放射性核種濃度の変動を把握するために、大気浮遊じん、降下物、陸水、土壌、植物等の核種分析を行った。

(2) 実施機関

鳥取県原子力環境センター

民間測定事業者（委託分析）

(3) 実施内容

令和7年度第1～3四半期の平常時モニタリングは、令和7年度環境放射線等測定計画に基づき実施した。当該計画の主な内容は、以下のとおりである。

ア 測定計画

表I-2-1のとおり。

イ 測定地点

図I-2-1、図I-2-2のとおり。

ウ 測定方法及び測定機器

表I-2-2のとおり。

(4) 測定結果の評価方法

環境放射線等測定結果の評価は、測定項目及び地点ごとに、詳細調査を開始するための閾値として過去の測定結果より「平常の変動幅」を設定し、四半期ごとに取りまとめた測定結果が「平常の変動幅」を超過した場合には、原子力施設の影響、気象や自然放射性核種等の影響などについて要因の調査を行う。

なお、「平常の変動幅」を設定するためのデータの蓄積が少ないものについては、本調査結果に加え、全国の調査結果等を参考に評価を行う。

表 I - 2 - 1 令和7年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所周辺）

1 空間放射線

項目区分	目的区分	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
空間放射線量率	④	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	Nal(Tl)シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」
	④	境港市外江町(外江公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市彦名町(彦名公民館) 米子市大篠津町(大篠津公民館) 米子市夜見町(夜見公民館)	7	連続測定	—	Nal(Tl)シンチレーション検出器 (可搬型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」
積算線量	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局) 境港市外江町(外江公民館) 境港市渡町(渡公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市大崎(崎津公民館) 米子市彦名町(彦名公民館)	9	4~6月 7~9月 10~12月 1~3月	36	蛍光ガラス線量計	放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」

※ 7カ所に設置している可搬型モニタリングポストは、緊急時におけるOIL判断に使用するとともに、放射線に係る理解向上など普及啓発と広報を目的に、平常時から空間放射線量率の測定・データ公開を行っている。

2 大気浮遊じん全α及び全β放射能

項目区分	目的区分	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
大気浮遊じん放射能	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	ZnS(Ag) + プラスチックシンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射線測定法シリーズ「全β放射能測定法」 JISZ4316「放射性ダストモニタ」

3 環境試料中の放射性核種分析

項目区分	試料	部位	目的区分	採取地点	採取頻度		測定項目/件数			測定機器	測定方法
					頻度	採取月	γ核種	H-3	Sr-90		
大気	浮遊じん	—	(参考)	境港市上道町 (境港局)	毎月		12			γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」
				米子市河崎 (米子局)			12				
降下物	降下物	—	(参考)	境港市上道町 (境港局)	毎月		12			γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」
				米子市河崎 (米子局)			12				
陸水	水道水	蛇口水	④	境港市上道町	3年毎年2回		R8			γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 H-3(委託分析): 低バックグラウンド液体シンチレーションカウンタ Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」 H-3: 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」 Sr-90: 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」
				米子市河崎			R9				
	原水	④	米子市福市	5,11月			2	2	2		
植物	松葉	二年葉	(参考)	境港市幸神町	年1回	10月	1			γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」
				米子市夜見町	年1回	10月	1				
土壌	公園	表層	④	境港市市場崎町	2年毎年1回		7月	1		γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」 Sr-90: 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」
	グラウンド*		④	米子市河崎			R8				
海水	海水	表層水	④ (参考)	境港市昭和町	2年毎年2回		5,11月	2	2	γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 H-3(委託分析): 低バックグラウンド液体シンチレーションカウンタ	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」 H-3: 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」
				米子市大篠津町			R8				
農産物	米	精米	(参考)	米子市夜見町	年1回	10月	1			γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」
	白ネギ	可食部	(参考)	境港市中海干拓地	年1回	12月	1				
	ダイコン	根	(参考)	境港市中海干拓地	年1回	12月	1				
海産生物	ワカメ	可食部	(参考)	境港市近海	年1回	4月	1			γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」
	ワカギ	身	(参考)	境港市近海	年1回	7月	1				
	セイゴ	身	(参考)	境港市近海	年1回	1月	1				
	ナマコ	身	(参考)	境港市近海	年1回	3月	1				
合計							62	4	3		

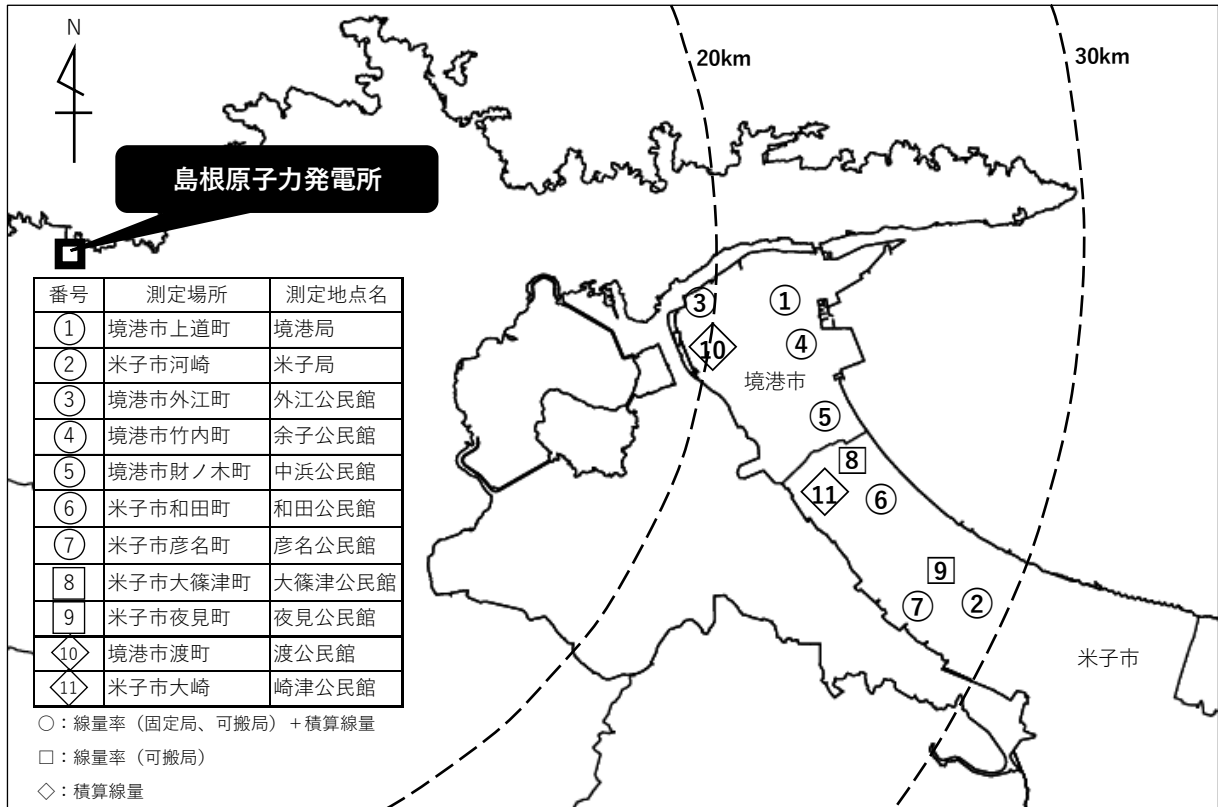


図 I - 2 - 1 空間放射線量率測定地点

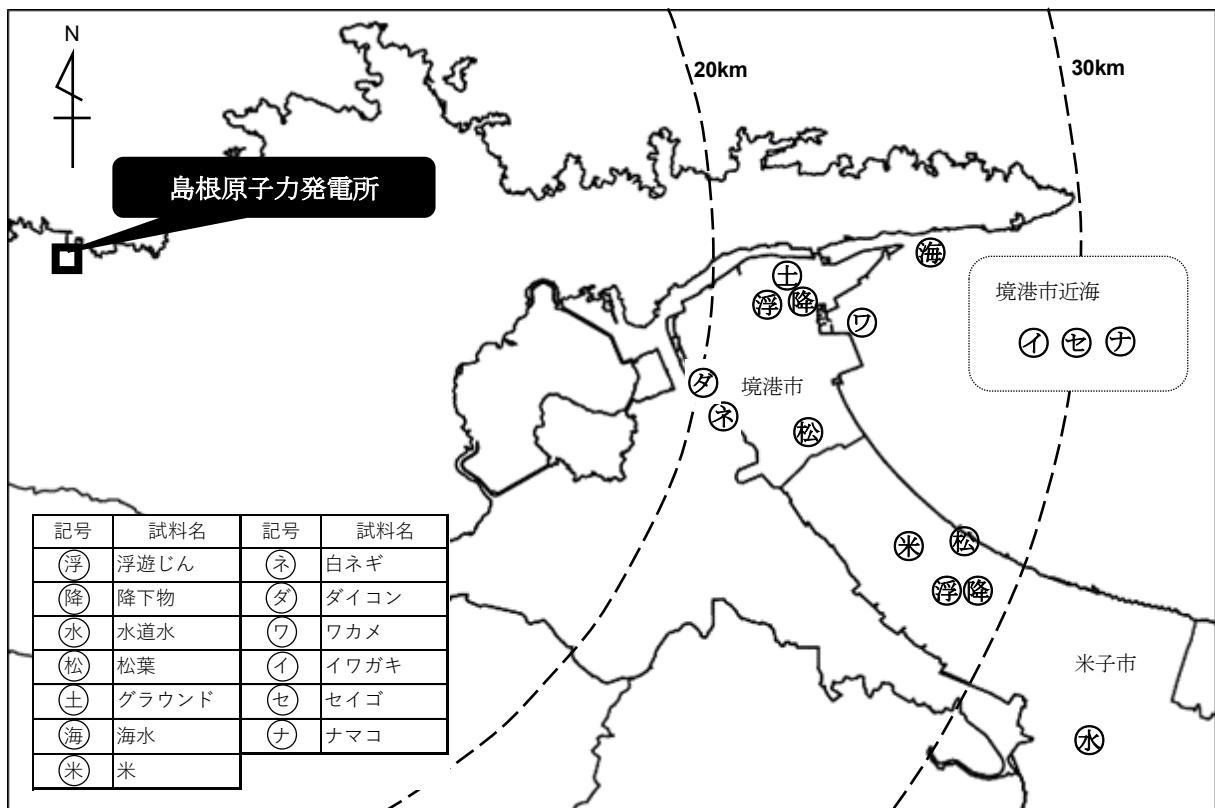


図 I - 2 - 2 環境試料採取地点

表 I - 2 - 2 測定方法及び測定機器

調査項目		測定方法	測定機器	
空間放射線	空間放射線量率	連続測定 放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」	NaI(Tl)シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト) 日立製作所製 MSR-R54-21545R1 (可搬型モニタリングポスト) 富士電機製 NAH37401-B-BY2YY-S 日立製作所製 MAR-1561BR3	
	積算線量	積算線量計 放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」	蛍光ガラス線量計(RPLD) 千代田テクノ製 ガラス線量計素子	
大気	浮遊じん放射能	放射線測定法シリーズ「全β放射能測定法」JISZ4316 「放射性ダストモニタ」 (200 L/分で3時間集じん後、3時間測定)	ZnS(Ag)+プラスチックシンチレーション検出器 日立製作所製 DSM-RC52-20089-1	
環境試料中放射性核種	浮遊じん	捕集フィルター	γ線スペクトロメトリー 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	
	降下物	濃縮物		
	陸水	水試料/濃縮物		
	植物	灰化物		
	土壌	生試料/風乾物		
	海水	吸着物		
	農産物	生試料/灰化物 ^{※1}		
	陸水	水試料	トリチウム分析	低バックグラウンド液体シンチレーション測定装置 (委託分析により実施)
	海水		放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	
	陸水	化学処理後の沈殿物	放射化学分析	低バックグラウンドベータ線測定装置 日立製作所製 LBC-4501
土壌	放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」			

※1 生試料を測定後、灰化处理して再度測定

3 令和7年度測定結果（第1～3四半期）

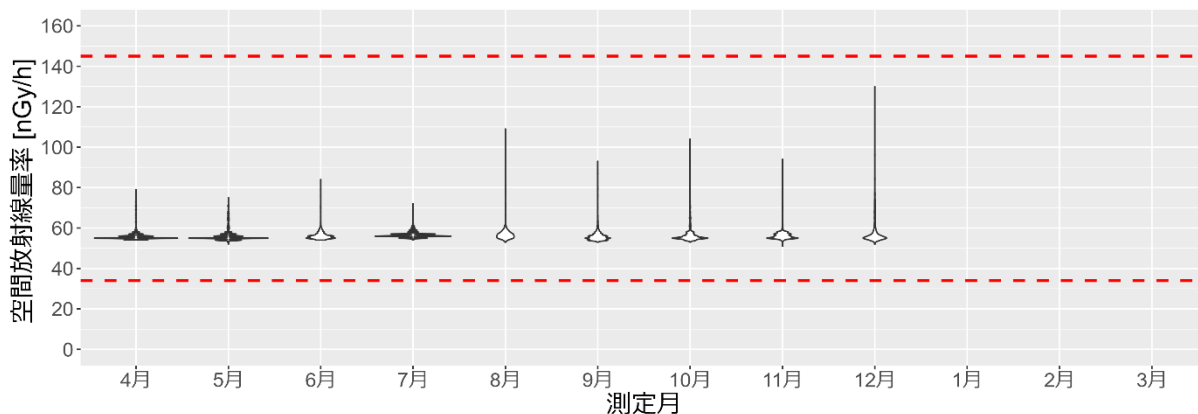
(1) 測定結果概要

令和7年度第1～3四半期の島根原子力発電所に係る平常時モニタリング結果については、概ね過年度の測定結果と同レベルであり、原子力施設からの影響は認められなかった。

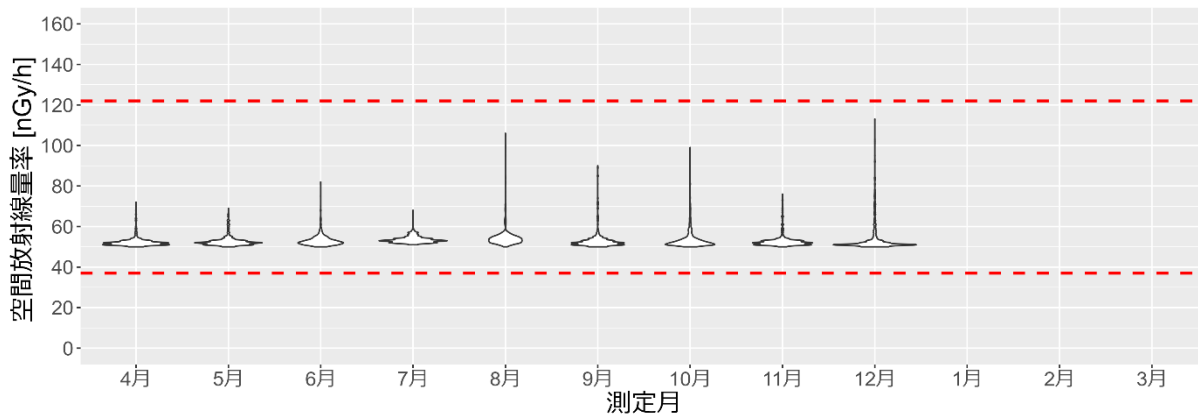
ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

固定型モニタリングポスト2地点ともに平常の変動幅の範囲内であった。



境港局



米子局

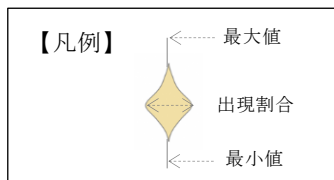
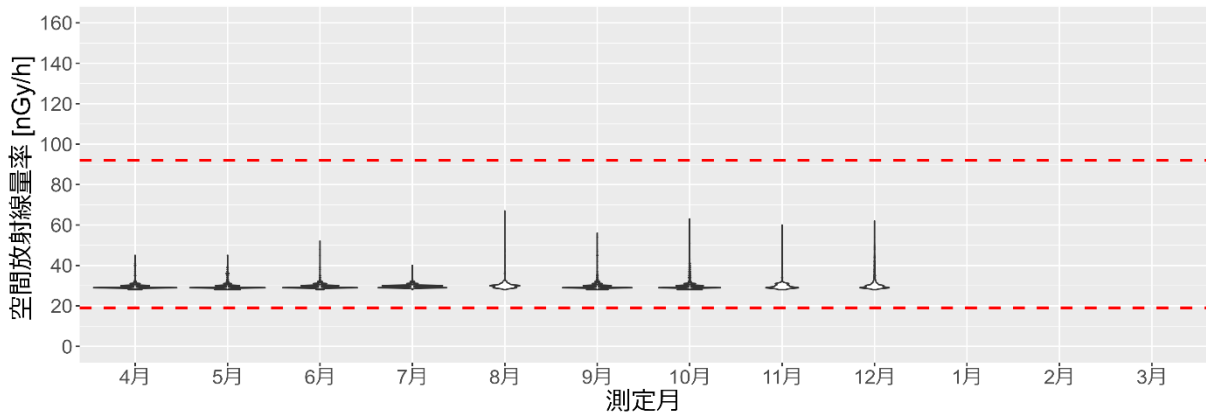
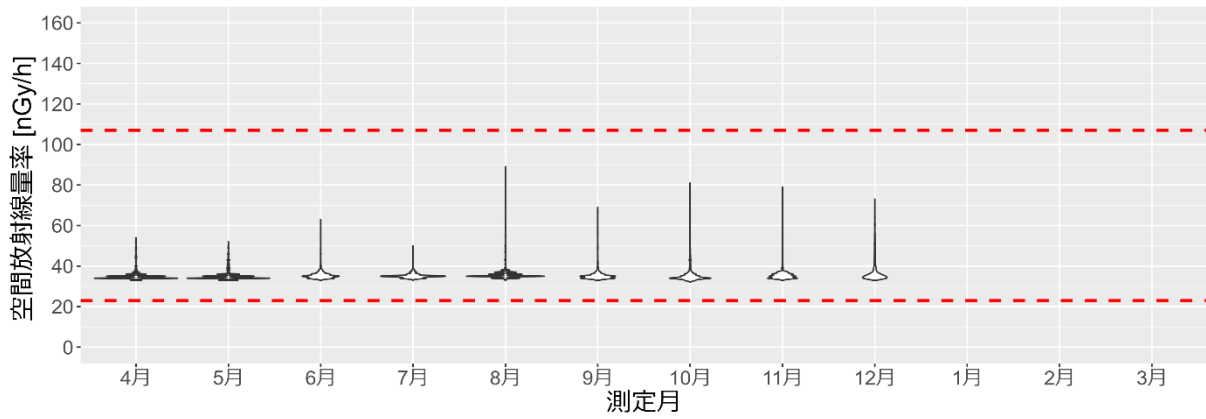


図 I - 3 - 1 a 空間放射線量率連続測定結果（固定型モニタリングポスト）

(参考) 緊急時の可搬型モニタリングポスト 7 地点の空間放射線量率連続測定結果は、
 全て平常の変動幅の範囲内であった。



外江公民館



余子公民館

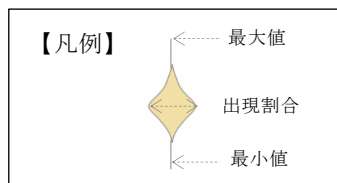
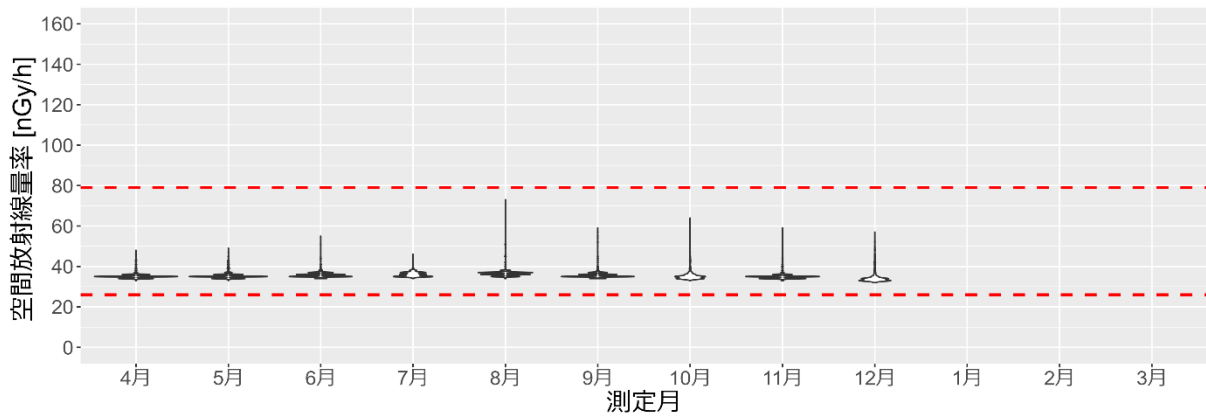
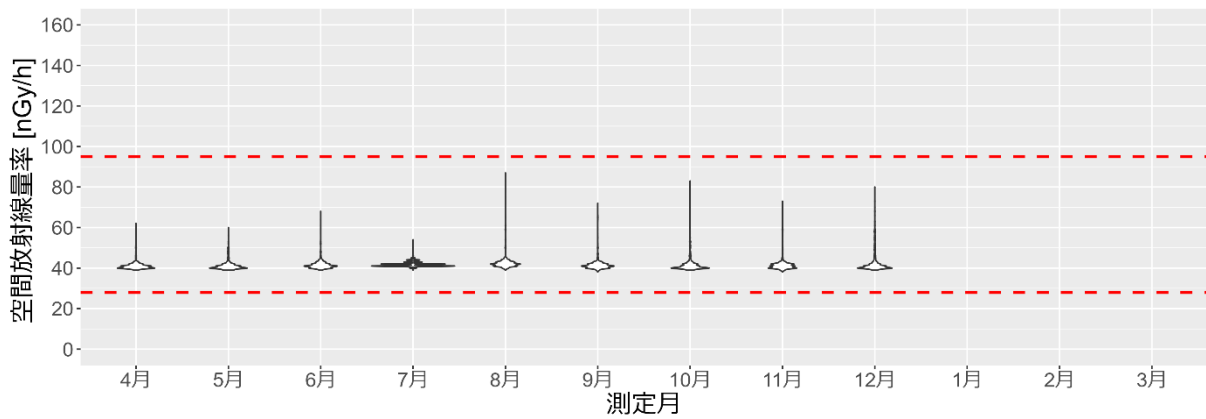


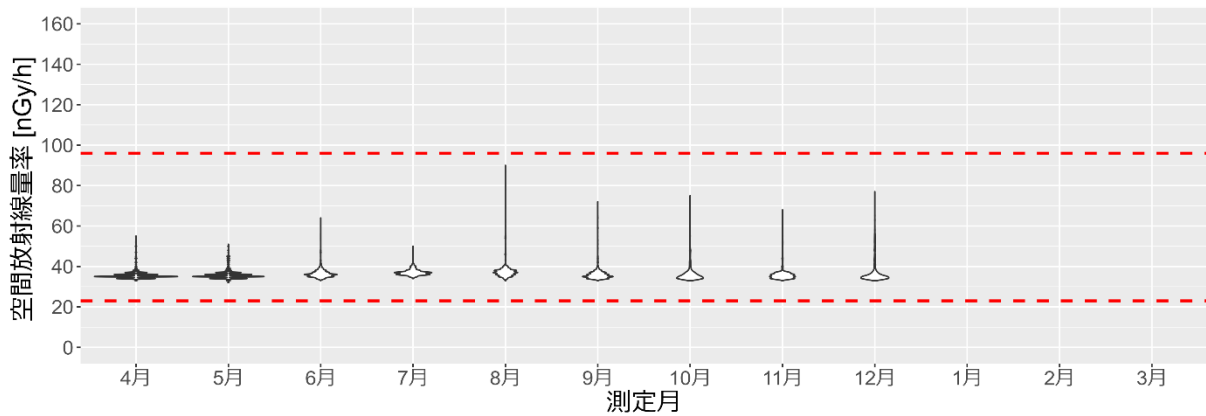
図 I - 3 - 1 b 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)



中浜公民館



大篠津公民館



和田公民館

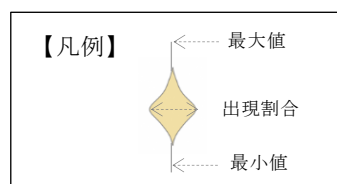


図 I - 3 - 1 c 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)

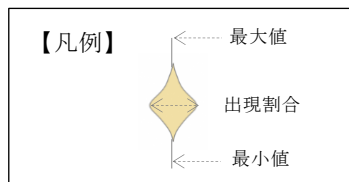
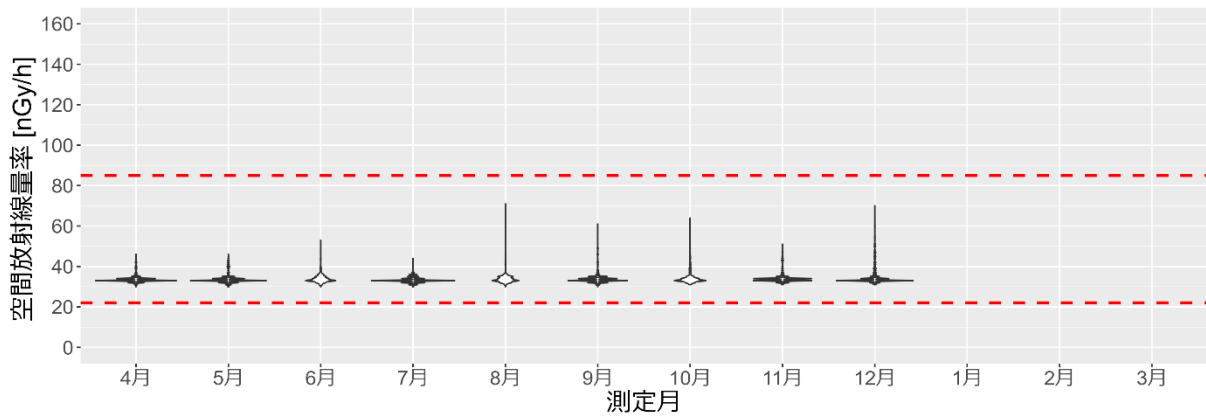
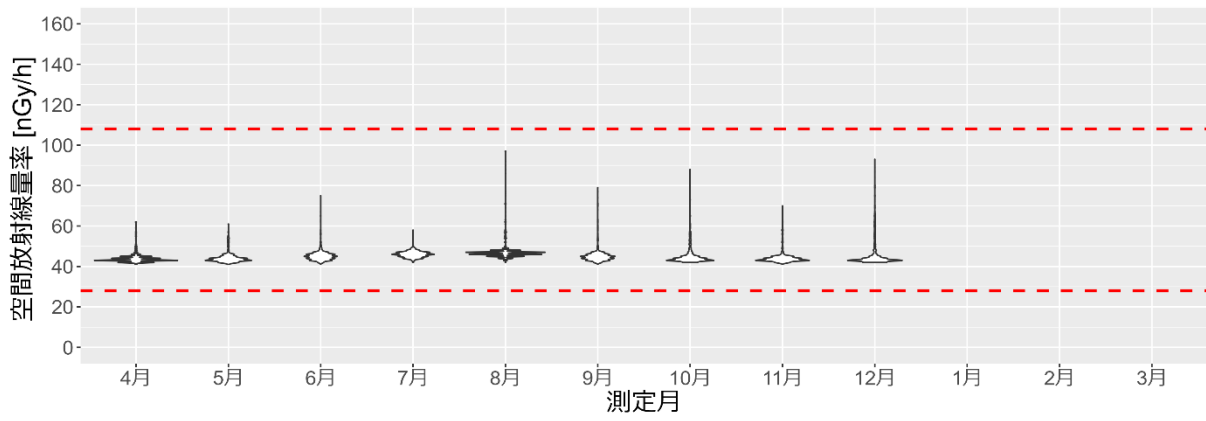


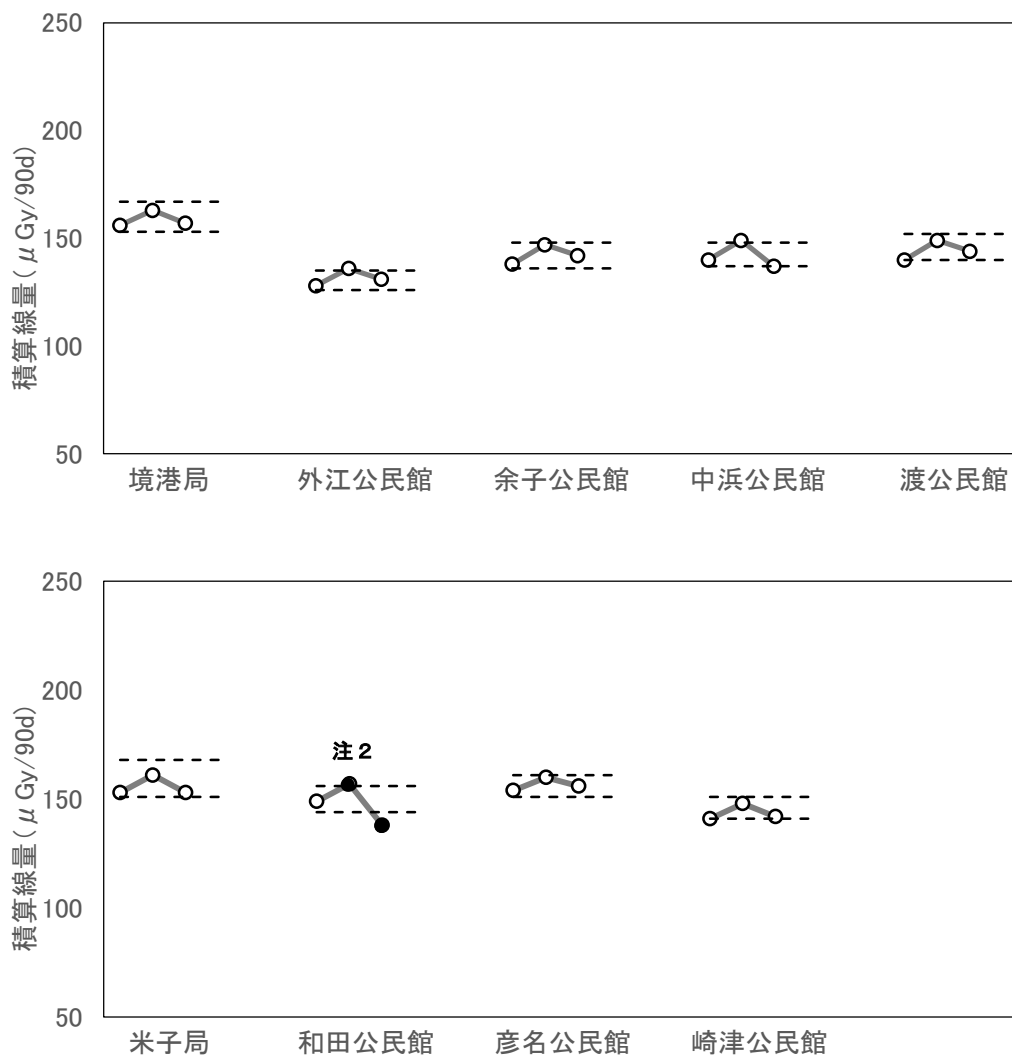
図 I - 3 - 1 d 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)

(イ) 積算線量測定

境港局、余子公民館、渡公民館、米子局、彦名公民館及び崎津公民館の6地点については、平常の変動幅の範囲内であった。

外江公民館及び中浜公民館の2地点は、第2四半期に平常の変動幅の上限をわずかに超過したが、これまでの測定結果と同レベルであり、周辺環境の変化が確認されなかったことから、自然変動によるものと考えられた。

なお、和田公民館の第2及び第3四半期は、RPLD 収納箱の修繕等の影響が疑われるため参考値とする。



注1：○は第1～3四半期の測定結果、点線は平常の変動幅を示す。

注2：和田公民館の第2,3四半期は、RPLD 収納箱の修繕等の影響が疑われるため参考値とする。

図 I - 3 - 2 積算線量の測定結果 (第1～3四半期まで)

イ 大気浮遊じん全α及び全β放射能の連続測定

第1四半期の米子局の大気浮遊じん全α放射能の最高値(1,814 mBq/m³)について、平常の変動幅の上限(1,798 mBq/m³)を超過した。平成26年度の測定開始からの測定実績は5～2,481 mBq/m³で、過去の測定範囲内にあることから、一時的にラドン子孫核

種の影響が全α放射能の変動に影響した可能性があると考えられた。

境港局の大気浮遊じん全α放射能及び全β放射能並びに米子局の大気浮遊じん全β放射能の連続測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表 I-3-1 大気浮遊じんの全α放射能、全β放射能の概要（第1～3四半期まで）

項目	測定地点	最高値	最低値	平常の変動幅	単位
全α放射能	境港局	1,384	21	6～1,616	mBq/m ³
	米子局	<u>1,814</u>	11	5～1,798	
全β放射能	境港局	3,710	52	18～4,729	
	米子局	4,342	32	18～4,800	

注1：200L/分で3時間集じん後、3時間測定。

注2：平常の変動幅は、R02～R06年度の5年間の最小値から最大値までの範囲。

注3：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

ウ 環境試料中の放射性核種

(ア) γ線スペクトロメトリー

米子局で採取した降下物から Cs-137（4月：0.18 MBq/km²、5月：0.48 MBq/km²）が検出され、5月分が平常の変動幅の上限（0.18 MBq/km²）を超過した。このことから要因調査を行ったところ、要因の1つとして米子局周辺の圃場の土が混入したことによる影響などが考えられた（Ⅲ 検証1参照(p39)）。

境港市及び米子市で採取した植物（松葉）から Cs-137（境港市：0.45 Bq/kg 生、米子市：0.077 Bq/kg 生）が検出されたが、いずれも平常の変動幅の範囲内（境港市：0.18～0.79 Bq/kg 生、米子市：0.071～0.18 Bq/kg 生）であった。

米子市から採取した農産物（米）から Cs-137 が検出されたが、過去の大気圏内核実験フォールアウト等の影響によるものと考えられた。また、検出された Cs-137（0.10 Bq/kg 生）は、平常の変動幅の下限値（0.13 Bq/kg 生）を下回った。

その他の試料の分析結果では、測定対象物質は検出されなかった。

表 I-3-2 γ線スペクトロメトリーの分析結果の概要（第1～3四半期まで）

区分	試料数 注1	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	単位
大気	24(18)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/m ³
降下物	24(18)	ND	ND	ND	ND		ND	0.18, 0.48注2,3	MBq/km ²
陸水	2(2)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
植物	2(2)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.077, 0.45	Bq/kg 生
土壌	1(1)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	Bq/kg 乾土
海水	2(2)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
農産物	3(3)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	Bq/kg 生
海産生物	4(2)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	Bq/kg 生

注1：試料数のカッコ内は第1～3四半期までの試料数

注2：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

注3：要因の1つとして米子局周辺の圃場の土壌による影響の可能性が考えられる。

(イ) トリチウム分析

陸水から H-3 (0.32 Bq/L) が検出されたが、他測定地点の平常の変動幅の範囲内であり、水道水の過去の測定結果と同レベルであった。

海水からは H-3 は検出されなかった。

表 I-3-3 トリチウム (H-3) の分析結果の概要 (第1~3 四半期まで)

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
陸水	水道水	(令和8年度測定予定)	ND~0.47	(令和9年度測定予定)	ND~0.37	0.32	ND	Bq/L
						ND		

区分	試料	境港市昭和町		米子市大篠津町		単位
		測定結果	平常の変動幅(暫定値)	測定結果	平常の変動幅	
海水	海水	ND	0.14 ~ 0.18	(令和8年度測定予定)	ND~0.39	Bq/L
		ND				

(ウ) 放射化学分析 (Sr-90)

今年度より測定を開始した米子市福市の陸水の Sr-90 測定結果は、0.60 及び 0.64 mBq/L であった。全国の環境放射能水準調査における蛇口水の Sr-90 測定結果 (ND ~ 2.6 mBq/L) と比較して同レベルであり、過去の核実験フォールアウト等の影響と考えられた。

また、境港市の土壌 (公園) については、Sr-90 が検出されなかった。

表 I-3-4 ストロンチウム (Sr-90) の分析結果の概要 (第1~3 四半期まで)

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定結果	平常の変動幅(暫定値)	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
陸水	水道水	(令和8年度測定予定)	1.0~1.1	(令和9年度測定予定)	0.73~0.78	0.64	(R07~)	mBq/L
						0.60		

区分	試料	境港市馬場崎町		米子市河崎		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
土壌	公園	ND	0.30 ~ 0.43	/		Bq/kg 乾土
	グラウンド	/		(令和8年度測定予定)	ND~0.47	

注：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

(2) 測定項目別の結果

ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定

表 I-3-5 固定型モニタリングポストの連続測定結果 (1時間値)

(単位: nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
境港局	最高値	79	75	84	72	109	93	104	94	130					145
	最低値	54	52	54	54	53	53	53	51	52					34
	平均値	56	56	56	57	58	57	57	57	58					—
米子局	最高値	72	69	82	68	106	90	99	76	113					122
	最低値	50	50	50	51	50	50	50	50	50					37
	平均値	52	53	53	54	55	53	54	53	54					—

注1:「平常の変動幅」:前年度までの5年間(R02~R06)の最小値から最大値までの範囲。

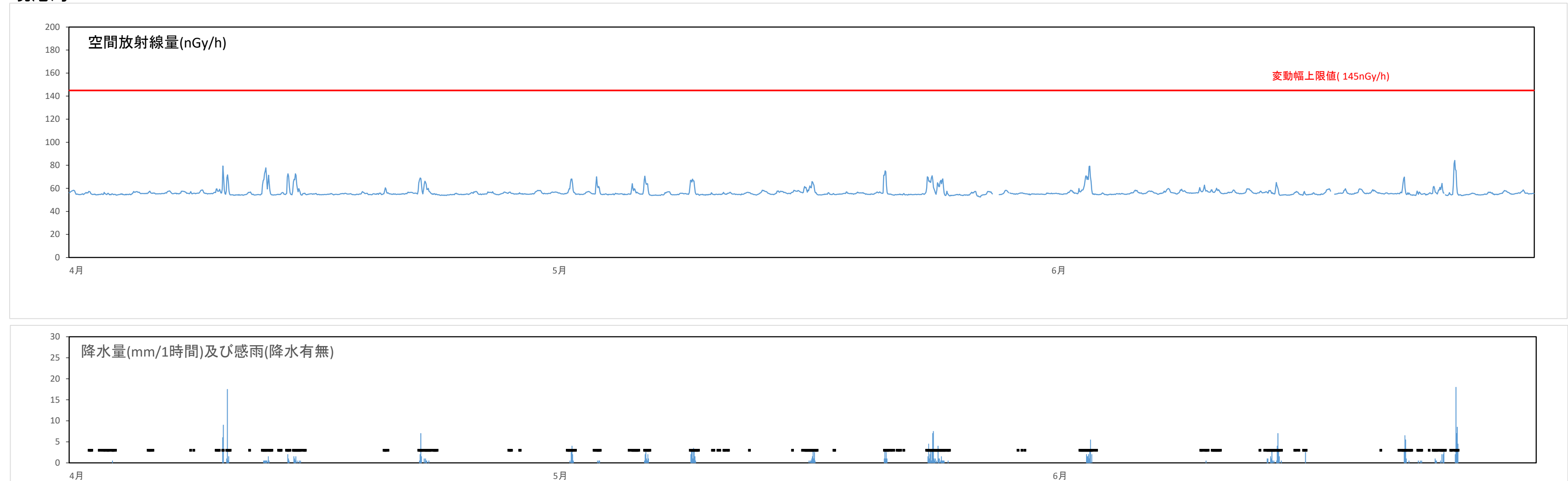
表 I - 3 - 6 可搬型モニタリングポストの連続測定結果（1時間値）

（単位：nGy/h）

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
外江 公民館	最高値	45	45	52	40	67	56	63	60	62					92
	最低値	28	28	28	28	28	28	28	28	28					19
	平均値	30	30	30	30	31	30	30	30	30	32				—
余子 公民館	最高値	54	52	63	50	89	69	81	79	73					107
	最低値	33	33	33	33	33	33	32	33	33					23
	平均値	35	35	36	35	37	36	36	36	36	38				—
中浜 公民館	最高値	48	49	55	46	73	59	64	59	57					79
	最低値	33	33	34	34	34	34	33	33	32					26
	平均値	35	36	36	36	37	36	36	36	36	35				—
大篠津 公民館	最高値	62	60	68	54	87	72	83	73	80					95
	最低値	39	39	39	39	39	38	39	38	39					28
	平均値	41	41	42	42	43	42	42	42	42	43				—
和田 公民館	最高値	55	51	64	50	90	72	75	68	77					96
	最低値	33	32	33	34	33	33	33	33	33					23
	平均値	36	36	37	37	38	36	36	36	36	37				—
夜見 公民館	最高値	62	61	75	58	97	79	88	70	93					108
	最低値	41	41	41	42	42	41	42	41	42					28
	平均値	44	44	45	46	47	45	45	45	45	46				—
彦名 公民館	最高値	46	46	53	44	71	61	64	51	70					85
	最低値	30	30	30	30	30	30	31	31	31					22
	平均値	34	34	34	33	35	34	35	34	35					—

注1:「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(R02～R06)の最小値から最大値までの範囲。

境港局



米子局

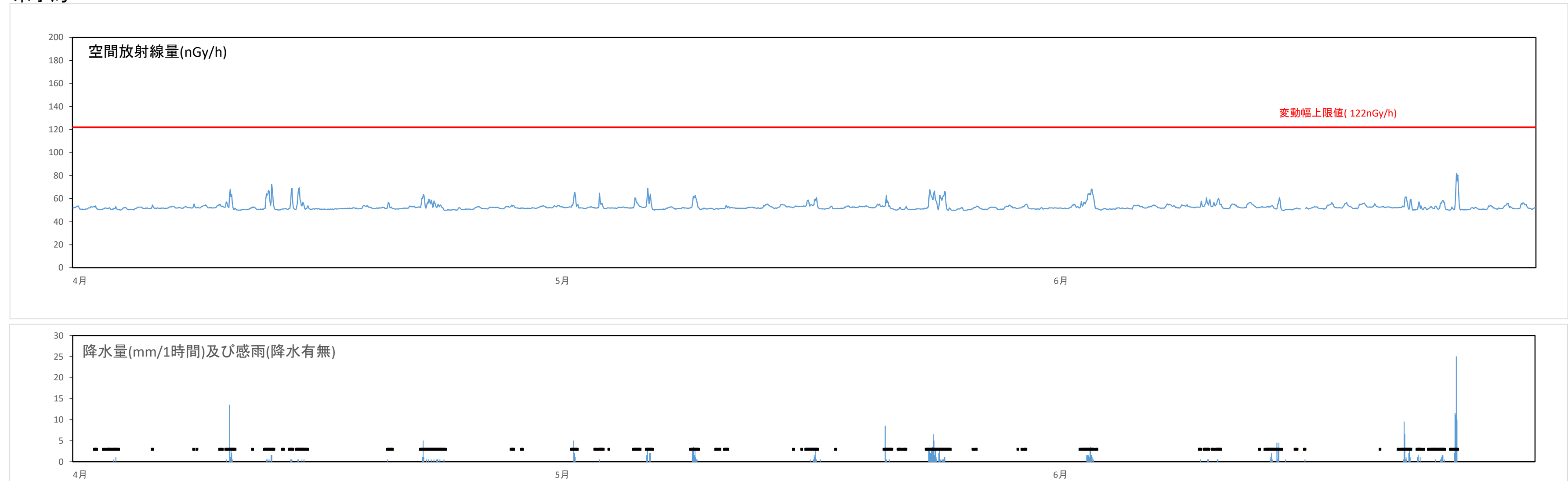
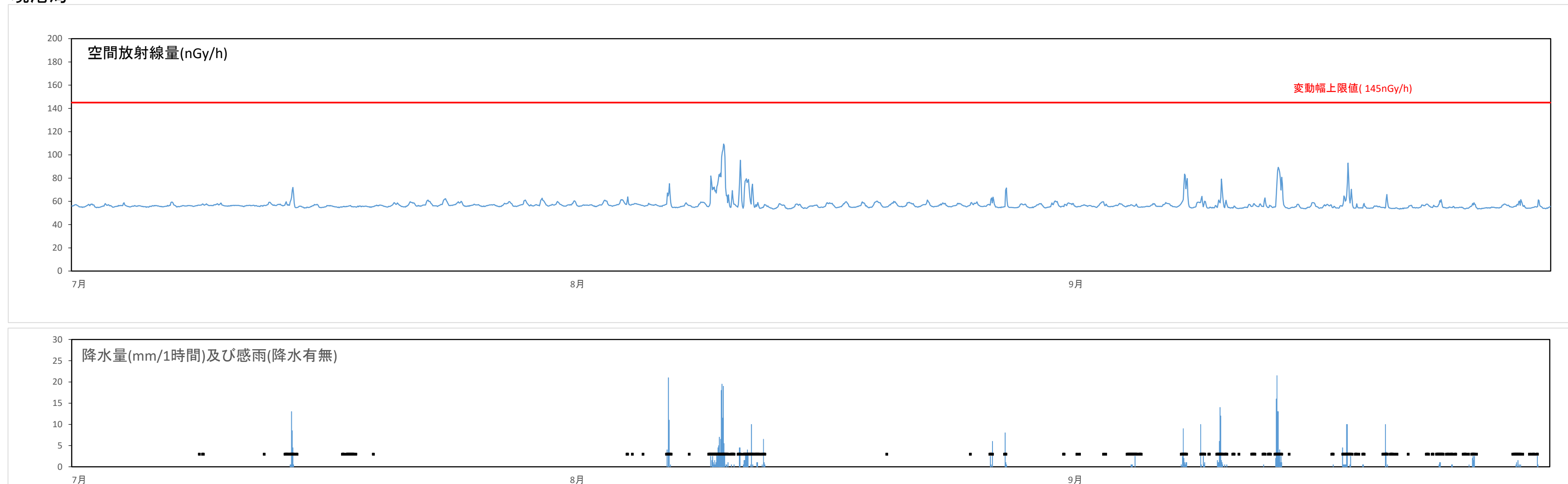


図 I - 3 - 3a 空間放射線量率と降水量の関係(令和7年度第1四半期、1時間値)

境港局



米子局

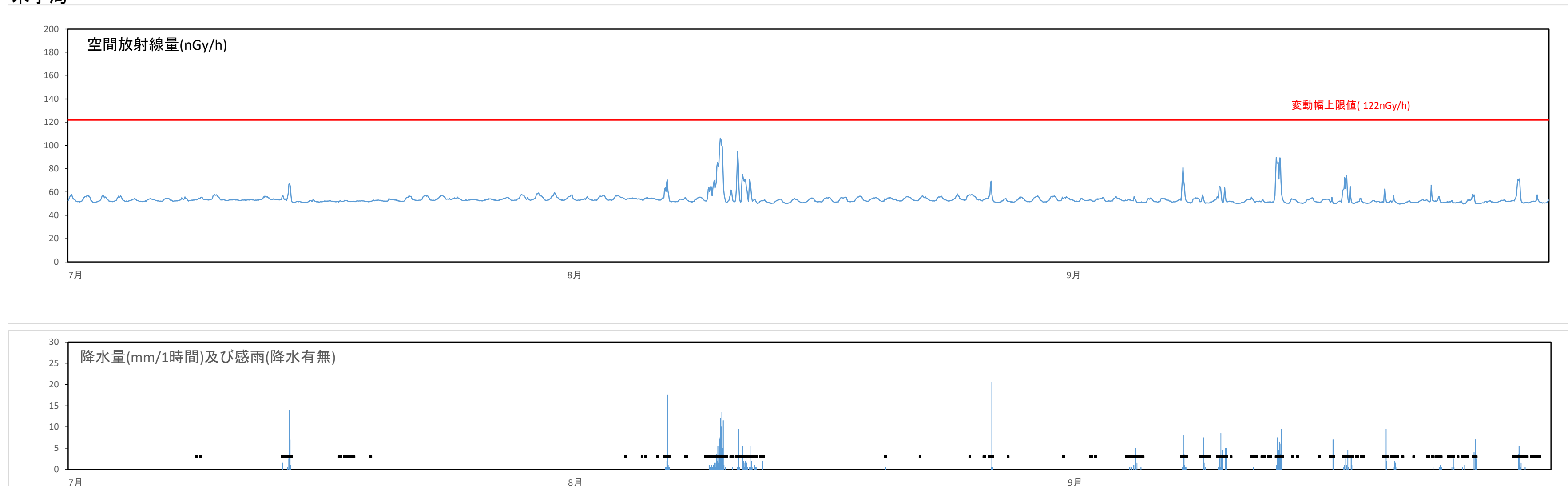
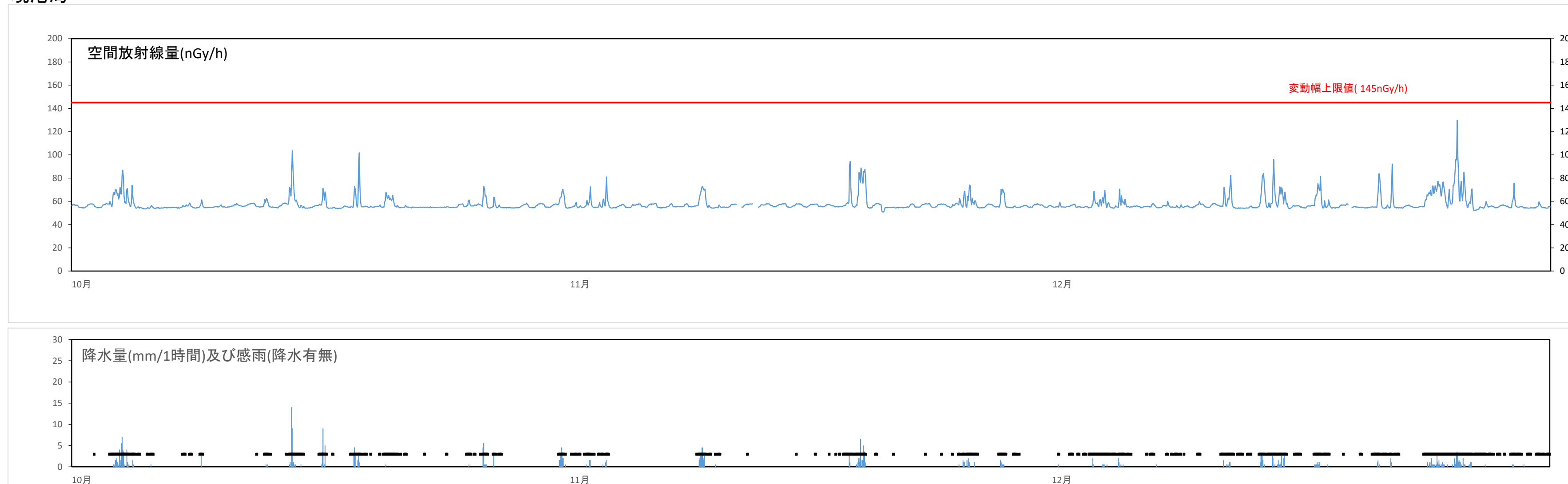


図 I - 3 - 3b 空間放射線量率と降水量の関係(令和7年度第2四半期、1時間値)

境港局



米子局

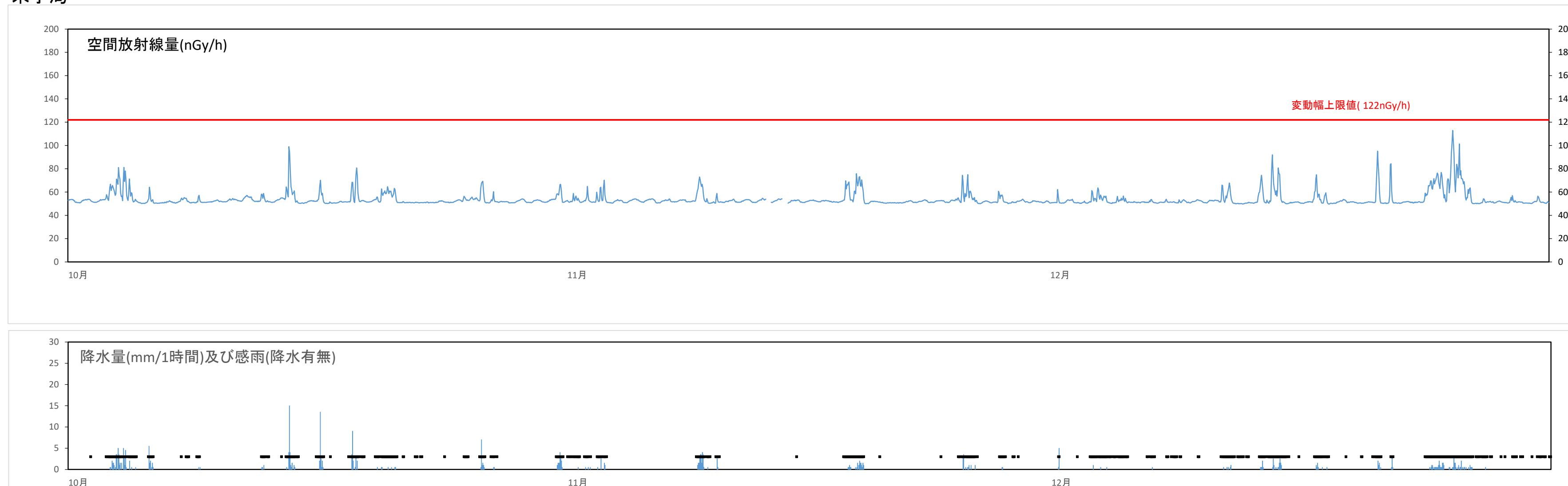


図 I - 3 - 3c 空間放射線量率と降水量の関係(令和7年度第3四半期、1時間値)

(イ)積算線量測定

表 I - 3 - 7 積算線量の測定結果

(単位:上段 $\mu\text{Gy}/90\text{d}$ 、下段 $\mu\text{Gy}/\text{h}$)

測定地点	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	平常の変動幅 (暫定値)	年間線量 (mGy/365d)
境港局	156 (0.072)	163 (0.075)	157 (0.073)		153 ～ 167 (0.071 ～ 0.077)	
米子局	153 (0.071)	161 (0.075)	153 (0.071)		151 ～ 168 (0.070 ～ 0.078)	
外江公民館	128 (0.059)	136 (0.063)	131 (0.061)		126 ～ 135 (0.058 ～ 0.063)	
余子公民館	138 (0.064)	147 (0.068)	142 (0.066)		136 ～ 148 (0.063 ～ 0.069)	
中浜公民館	140 (0.065)	149 (0.069)	137 (0.063)		137 ～ 148 (0.063 ～ 0.068)	
和田公民館	149 (0.069)	157 ^{注4} <u>(0.073)</u>	138 ^{注4} <u>(0.064)</u>		144 ～ 156 (0.067 ～ 0.072)	
彦名公民館	154 (0.071)	160 (0.074)	156 (0.072)		151 ～ 161 (0.070 ～ 0.075)	
渡公民館	140 (0.065)	149 (0.069)	144 (0.067)		140 ～ 152 (0.065 ～ 0.076)	
崎津公民館	141 (0.065)	148 (0.069)	142 (0.066)		141 ～ 151 (0.066 ～ 0.070)	

注1:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H28～R06年度)とする。

注2:下段()内の数値は、当該期間における1時間当たりの線量率に換算したもの。

注3:下線部は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

注4:和田公民館の第2及び第3四半期については、収納箱の修繕の影響が疑われるため、参考値とする。

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

表 I - 3 - 8 大気浮遊じんの測定結果

(単位：mBq/m³)

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
全 α 放射能	境港局	最高値	1,146	942	1,380	1,350	1,173	1,058	995	1,384	1,280					1,616
		最低値	21	28	28	22	32	22	33	53	32					6
		平均値	248	218	284	218	283	199	220	439	337					
	米子局	最高値	1,094	1,360	<u>1,814</u>	1,702	753	528	1,335	1,149	1,305					1,798
		最低値	23	20	37	22	23	11	31	54	29					5
		平均値	269	254	371	222	215	127	235	410	320					
全 β 放射能	境港局	最高値	3,141	2,674	3,426	3,540	3,001	2,691	2,546	3,710	3,107					4,729
		最低値	53	76	79	52	85	52	85	133	81					18
		平均値	664	593	744	568	737	531	593	1,172	838					
	米子局	最高値	2,595	3,716	4,342	3,907	1,968	1,388	3,370	2,938	3,136					4,800
		最低値	51	52	101	54	61	32	75	132	69					18
		平均値	674	639	920	551	568	348	608	1,043	771					
全 β — 全 α	境港局	最高値	3.1	3.0	3.1	3.1	2.9	3.0	3.0	3.0	2.8					
		最低値	2.4	2.5	2.4	2.4	2.4	2.3	2.4	2.4	2.4					
		平均値	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7	2.5				
	米子局	最高値	2.9	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	2.8	2.8	2.7					
		最低値	2.3	2.4	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3					
		平均値	2.5	2.5	2.5	2.5	2.7	2.7	2.6	2.6	2.4					

注1:3時間集じんし、3時間測定。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R02~R06年度)の最小から最大値までの範囲。

ウ 環境試料中の放射性核種（ γ 線スペクトロメトリー）
（ア）大気（浮遊じん）

表 I-3-9 大気（浮遊じん）の測定結果

(単位:mBq/m³)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)	
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137	
境港市上道町 (境港局)	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	3.8	0.52	ND	
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	3.2	0.41		
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	2.2	0.43		
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	1.6	0.39		
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	1.2	0.44		
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	1.4	0.45		
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	3.2	0.46		
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	3.9	0.49		
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	3.5	0.50		
						/						
						/						
						/						
米子市河崎 (米子局)	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	3.4	0.43	ND ～0.010	
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	3.0	0.44		
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	2.3	0.42		
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	1.5	0.37		
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	0.89	0.45		
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	1.0	0.43		
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	2.9	0.49		
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	3.4	0.35		
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	3.2	0.53		
						/						
						/						
						/						

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:H30年度から1ヶ月間の連続採取(H24～29年度は月1回の24時間採取)

注3:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(イ) 降下物

表 I - 3 - 10 降下物の測定結果

(単位: MBq/km²)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅(暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町(境港局)	4月1日～5月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	120	5.9	ND
	5月2日～6月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	97	2.1	
	6月2日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	54	ND	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	14	ND	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	68	ND	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	120	1.1	
	10月1日～11月4日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	130	1.9	
	11月4日～12月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	160	3.6	
	12月1日～1月5日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	490	4.0	
米子市河崎(米子局)	4月1日～5月2日	ND	ND	ND	ND		ND	0.18	93	3.3	ND ~ 0.18 (注3)
	5月2日～6月2日	ND	ND	ND	ND		ND	<u>0.48</u>	98	6.3	
	6月2日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	57	2.9	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	16	ND	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	38	ND	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	85	1.3	
	10月1日～11月4日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	170	3.1	
	11月4日～12月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	100	2.8	
	12月1日～1月5日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	320	3.8	

注1: NDは検出下限値未満を示す。

注2: 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

注3: 米子局はH29年度に採取高を1mから3mに変更したため、「平常の変動幅」は、H29～R06年度に採取高3mで行った結果の最小～最大値を記載した。

(ウ) 陸水

表 I-3-11 陸水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	42	ND
			R07.11.04	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	48	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27~R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(エ) 植物

表 I-3-12 植物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
松葉	二年葉	境港市幸神町	R07.10.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.45	15	42	0.18 ~ 0.79
		米子市夜見町	R07.10.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.077	24	51	0.071 ~ 0.18

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27~R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(オ) 土壌

表 I-3-13 土壌の測定結果

(単位:Bq/kg乾土)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
公園	表層	境港市馬場崎町	R07.07.01	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	930	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27~R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(カ) 海水

表 I-3-14 海水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
海水	表層水	境港市昭和町(美保湾)	R07.05.14	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	220	ND
			R07.11.12	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	240	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27~R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(キ) 農産物

表 I-3-15 農産物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
米	精米	米子市夜見町	R07.10.24	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	19	0.13 ~ 0.22
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	R07.12.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.37	63	ND
ダイコン	根	境港市中海干拓地	R07.12.09	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	52	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27~R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

注3:米は生産者の変更に伴い、R01年度から採取地点を米子市夜見町の同一地区内の別の圃場に変更した。

(ク) 海産生物

表 I-3-16 海産生物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137	
ワカメ	可食部	境港市近海	R07.04.03	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	190	ND	
イワガキ	身		R07.07.07	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	2.2	74	ND	
セイゴ	身		(1月採取予定)					/						0.10 ~ 0.20
ナマコ	身		(3月採取予定)					/						ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27~R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

エ 環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

表 I-3-17 トリチウムの測定結果

(単位:Bq/L)

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅
陸水	水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	<u>0.32</u>	ND
				R07.11.04	ND	
海水	海水	表層水	境港市昭和町(美保湾)	R07.05.14	<u>ND</u>	0.14 ~ 0.18 (暫定値)
				R07.11.12	<u>ND</u>	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27~R06年度)の最小値から最大値までの範囲とするが、海水(境港市昭和町)は測定開始から10年経過していないため、暫定値(R05~06年度)とする。

注3:下線部は、平常の変動幅の範囲外であることを示す。

オ 環境試料中の放射性核種（ストロンチウム分析）

表 I-3-18 ストロンチウム(Sr-90)の測定結果

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)	単位
陸水	水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	0.64	(R07~)	mBq/L
				R07.11.04	0.60		
土壌	公園	表層	境港市馬場崎町	R07.07.01	ND	0.30~0.43	Bq/kg乾土

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年間のデータがないため、暫定値(土壌:H30~R06年度)とする。